

学校だより

第1号

# 静けき海の心

高中訓：心うごかそう～考える・感じる・協働する高中生～  
めざす生徒像

- 健康や安全を意識して生活する生徒
- 自分や周りの人のことを考え行動する生徒
- 進んで学習に取り組む生徒

## 令和2年度が始まりました

4月7日、340名の新入生を迎え、令和2年度の入学式を行いました。春先の冷え込みもあり、桜の花がほぼ満開の様子でこの日を迎えることができました。

私は、校長として四年目を迎えました岡本たつお竜生と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今後とも、保護者や地域の皆様の温かいご支援をいただきながら、伝統あるこの高浜中学校をさらに活気のある学校に高めていきたいと考えています。引き続き高浜中学校の教育活動に対するご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。



入学式において、式辞として次のような話をしました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日から、皆さんは、高浜中学校の1年生です。中学校生活の第一歩を踏み出しました。中学校は、たくさんの経験をし、たくさんのことを学び、心を磨いて、自立に向けて、成長するところです。そのために、次のことに心がけてください。

まずは「健康」です。無理のし過ぎはいけませんが、多少のことにはへこたれず、強いからだをつくりましょう。

つぎに「豊かな心」です。自分の責任を果たせる強さと同時に、人の苦しみや悲しみを理解できる温かい心を育てましょう。

そして「自ら学ぶ姿勢」です。人生においてものごとを吸収する力があふれているこの時期に、授業に真剣に取り組み、教養を身につけましょう。また、部活動や学校外のクラブ活動に真剣に取り組むこともよいと思います。

さあ、新しい一年を始めましょう。主人公はもちろん皆さん自身です。そして、私たちは皆さんの応援団です。あせる必要はありません。ここにいる先生たちと一緒にがんばっていきましょう。

## 高浜版CAN-DOリストとキャリアパスポートについて

新学習指導要領の実施に伴って高浜市では、小学3年生から中学3年生までの7年間の学びの積み重ね・小中の接続を意識し、児童生徒が一人一人の英語の学習到達度を明確にするためにCAN-DOリストを作成しました。リストには、各学年における5領域（スピーキング（発表）・スピーキング（やりとり）・ライティング・リーディング・リスニング）の最終学習到達目標が示してあります。年度当初に1年後の目標とすべき姿を知って、一歩ずつレベルアップし、学び続ける気持ちを育てたいと考えます。

今後、進展していくグローバル社会の中で、英語でコミュニケーションがとれることは、児童生徒のキャリア選択のチャンスを広げることにつながります。多くの外国の人々とかかわり、自分の世界を広げることができる人となるようご家庭と協力して育てて参りたいと思います。

また、新学習指導要領において、キャリア教育の充実を図ることが明示されました。高浜市においても、小学校から高等学校までを通じて、児童生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりして、自己評価を行い、主体的に学びに向かう力を育て自己実現につなげられるように「キャリアパスポート」を使用していきます。懇談会等で話題にし、お子さんの変容や成長を確認しながら、励ましていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

## 懐かしい先生方から贈る言葉をいただきました

本年度、11名の教職員が異動並びに退職をしました。次のようなお言葉をいただきました。

奥谷 敦子先生	校内に展示されている先輩の書を知っていますか。「初志貫徹」「一生懸命」「道」ありふれた言葉、毎日素通りしそうな文字でも、その時々自分の状況や心持ちによって、心が揺り動かされたり、考えさせられたりします。今のあなたはこれらの言葉を見て、どんな思いを巡らせ、何を考えますか。悩んだとき、迷ったとき、忙しくて精一杯というときこそ、この書の前で立ち止まって自分と向き合ってみてください。
小嶋 俊明先生	ここってときの圧倒的な盛り上がりはもちろん、さりげなく相手の心を幸せにする行動ができる高生が好きでした。この子のためにと昼夜問わず一生懸命な先生たちが好きでした。声と心を響かせる高校の歌声が好きでした。こちらの想像や期待を超える姿に出会える日々の授業が好きでした。三年間ありがとうございました。皆さんのさらなる活躍を応援しています。
神谷 哲也先生	「健やかに」これは私が皆さんに贈る言葉の一つです。新3年生の皆さん、授業やスキー合宿で楽しく過ごせました。ありがとうございます。柔道部のみんなの楽しく一生懸命に練習する姿も大好きでした。一人一人に声はかけられませんが、今後も頑張れると思っています。新2年生と過ごしたオリエンテーション合宿もよい思い出です。新入生も、これから高中を担うすべての皆さん、健やかに成長してってください。
林田 博恵先生	九年間お世話になりました。安定していて不変でいることは心地よいということ、今まさに環境の変化の中にある私自身が実感しています。しかし、ずっと同じではられません。新しいスタートは自分を成長させるのにとってもよいことです。新しい仲間、新しい環境の中で、新たな気持ちで前進していきましょう。皆さんの活躍を陰ながら応援しています。
山本 弘法先生	高浜中学校の特徴の一つは「数」ではないでしょうか。四つの小学校から300人以上が集まります。多くの仲間がいる。だから、全員の思いが一つになったときのエネルギーはすさまじいものがあります。授業や行事で存分にそのエネルギーを発揮してください。そうして最高の思い出をつくってください。二年間という短い間でしたが、ありがとうございました。
林 朋樹先生	急なお別れになってしまいごめんなさい。教師という道を離れ、四月からは化学者として潤滑剤の分析や開発をする仕事をしています。自分のやりたかったこと、学んできたことと向き合って、新しい一歩を踏み出しました。心地よい春風が追い風となって、皆さんの新たな生活のスタートを後押ししてくれますように。皆さんの活躍と成長をいつまでも見守っています。
山田 真一先生	豊田市の猿投台中学校に異動しました。皆さんと会えなくなることを寂しく思っています。特に新3年生の皆さんには、優しくして何事にも全力で取り組む姿勢に何度も助けてもらいました。「義を見てせざるは勇なきなり」正しいと思ったことを実行する強さを持ち、最後までエネルギーに満ちた心優しい皆さんで高中を引っ張ってってください。
後迫 隼司先生	新3年生の皆さん、この二年間は本当に充実したものでした。授業や学級でみんなと笑い楽しんだ経験は大切な思い出です。卒業の姿が見られないのは残念ですが、さらなる成長を経ていくことを願っています。女子卓球部の皆さん、新3年生は引退まで悔いのないように頑張ってください。新2年生は先輩の立場になります。後輩に対して誇れる姿を身につけてください。
江坂 裕子先生	皆さんに伝えたいことは「何をするにもまずは健康が基本」ということです。十年間保健室で多くの生徒と関わってきました。やりたいことがあるのに、頑張ってきたのに、健康を損ねてしまったために残念な結果となり、涙をこぼす姿を見てきました。日頃からよく寝る、動く、しっかり食べる、トイレに行くという基本的な生活習慣を大切にしてください。翼小から見守っています。
渡邊 正道先生	幸田町の幸田南部中学校で英語を教えています。三ヶ根山の麓のこじんまりとした学校です。突然の休校でお別れの挨拶すらできなかったことはとても残念です。高浜中を去らなければならないことはとても悲しいですが、出会いと別れは必ずあるものです。高浜中の皆さんと過ごした楽しい日々は決して忘れません。どこかでまたお会いしましょう。
吉田 早織主事	二年間お世話になりました。いつも職員室にいましたので生徒の皆さんと交流することはあまりありませんでしたが、廊下ですれ違ったときに挨拶してくれたり、学校行事でそれぞれの役割に責任をもち、生き生きと活動したりする姿を見て、素敵な皆さんだなと思っていました。今は岡崎の藤川小学校で仕事しています。

## 高中訓 “心うごかそう ～考える・感じる・協働する高中生～”

本年度も引き続き、“心うごかそう～考える・感じる・協働する高中生～”を高中訓として掲げました。授業で、行事で、部活動で、自問清掃で、その他日常生活も含めてあらゆる場面で、心がうごく体験を積み重ねて心を豊かにし、そして感性を磨き、有意義な日々を過ごしてほしいと思います。そのことが、生徒それぞれが主人公である「自分自身の物語」をつむいでいくことになると考えています。今後とも温かいご支援をよろしくお願ひします。